

蘇州の古い職業(5)

●**屋台の肉屋** 現在は集合マーケットや野菜市場がありすべてが管理されていますが、以前はそれぞれが、基本的には決まった場所に屋台を出して営業していました。肉屋は包丁さばきが見事で、三两①欲しいと言ったら四両になることはなく、半斤②と言ったら250グラムでなければなりません。正確なスパッとした動きは、目が追い付いていかないほどのあざやかさです。

①1両は50g。②1斤は500g

卖肉摊 现在有集贸市场、菜市场，都集中管理了，过去都是乱设摊点，但基本上是固定的地方。卖肉者刀功极好，说要三两不会四两；说要半斤不会斩八两，动作快、准、狠，直看得你眼花缭乱。

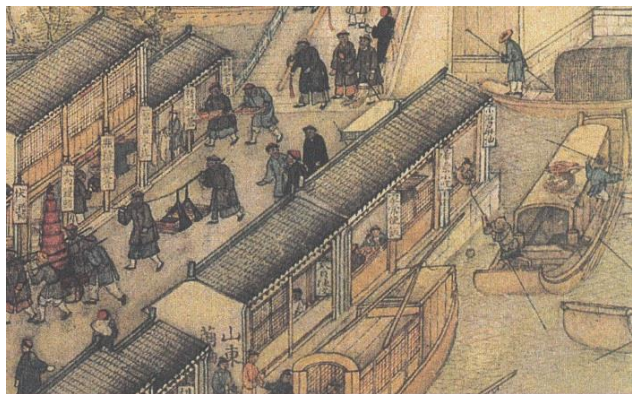


●**新聞売り** 新聞売りは「刷り上がり」の新聞を背負い、最もにぎやかな大通りで声を上げて新聞を売ります。新聞売りはほとんどが子供なので報童と呼ばれますが、中には成人もいます。しかし報童はとても速く走ることができます。ニュース（中国語で「新聞」と綴る）は「新しく」「速い」ことが必要とされるのです。

卖报人 卖报人背着刚“出炉”的报纸，在最热闹的大街上叫卖，卖报人大多是孩童，也叫“报童”，也有老头卖报的，但是“报童”跑的快，新闻就是要“新”、“快”。

●**朝食屋台市場** 朝食屋台市場はいろいろな軽食の朝食を作って商売をする一種の朝市です。だいたい一か所に集まっていて、特に小さな町でよく見られます。饅頭屋、茶葉蛋(チャーイェダン)屋、湯団(ダントゥアン)屋などなど、何でもそろっています。普通は早朝四時、五時から八時、九時まで営業します。屋台にはみな常連客がいて、もし一日でもその人が来ないと、どうしたのだろうかと主人は聞きまわります。彼が心配するのは自分の商いに関わるからではなく、常連客の体のことを心配しているからなのです。

摆早摊 “摆早摊”就是各种做小吃早点的小生意做一个早市。往往集中在一个地方，尤其在小镇上多见。有卖馒头的，茶叶蛋的，卖汤团的等等，应有尽有。一般在清晨的四五点到早上的八九点。摊主们都有老顾客，如某一天某某顾客没来，摊主就要忙着打听，他担心的不是自己生意，而是惦记着他的身体状况。



●**船上商い** 蘇州は水路が多くて、船上で行われる商売は、かつては古都市蘇州の一大名物でした。大勢の商人たちが一つの河に集まり（閶門、山塘の一带は最も盛ん）、船上で直接売り買いをします。物資の価格を見て交渉をし、それから小さな船で「小橋流水（小さな橋がいくつもかかっている特徴的な蘇州の景色）」に入っていきます。すべての家が川に沿っているので売買に都合がいいからです。

船上经商 苏州水路河道众多，船上生意已是古城苏州的一大特色。商贩们聚众在某一河道要地（阊门山塘一带最繁忙）在船上直接买卖。看货压价，谈妥直接搬运，再经小船（小贩）载运进入“小桥流水”，因“人家尽枕河”买卖东西就方便多了。

●**乳母** この仕事はお乳が十分に出る女性（子供を産んだばかりの女性）しかできません。生まれつきお乳の出が悪い女性で、赤ちゃんを産んでもお乳が足りない場合、田舎から雇われてきた女性がこの仕事をしました。この中のある女性はお乳を飲ませるだけでなくそのあと子供の世話をした人もいたので、彼女たちのことも「乳母」と言います。

奶妈 此行只有奶水足的妇女能做的事（即刚生过小孩的妇女），但有的妇女天生奶水不足，刚生婴儿就缺乳，常雇用乡下妇女来做此事，有的不光喂奶，还要照顾其成长，也称“奶妈子”。



●**仲人** 「媒婆」とは仲人(女性)のことで、昔は今のような仲介者や自由恋愛、あるいはネット上のつきあいはありませんでした。大きな家の娘さんはほとんど外出しなかったもので、異性と知り合う機会もなく、すべて媒婆の手引きが必要で、成功した場合、媒婆は一定費用を受け取り、結婚式を挙げるときには「十八の豚のもも肉を食べる」のです（謝礼を受け取る意味。八がめでたい数字としてこのような表現が用いられる）。この費用は必ず受け取らなければならないと思います。なぜならこれが彼女の収入源だからです。「十八の豚のもも肉」といっても、そんなに食べきれるとは限りませんが！

媒婆 媒婆就是红娘,不象现在有中介或自由恋爱,或网上交友。以前大家闺秀很少出门,没有什么机会去认识异性,都要红娘一线牵,如成功了,媒婆要收一定的费用,举行婚礼时要吃“十八只蹄膀”。我想这费用肯定要收,因为这是她的取材之道,十八只蹄膀呢,就不一定吃得啦! 1

●**売り声を上げて歩く物売り** 昔は売り声を上げながら通りをいく物売りがたくさんいましたが、今では都会ではほとんどお目にかからなくなりました。実はこの移動販売は税金逃れもでき、ときには売るものの目方を少なくしたり、ということがありました。もしあなたがそのような目に遭ったら運が悪かったとあきらめましょう。また、あなたが昼休みで休んでいるとき、「西瓜は要らんかねー」という声が聞こえ、しばらくしてまた「西瓜は要らんかねー」という声が聞こえてくると、うるさくて安らかではいられないでしょう。

沿街叫卖 旧时沿街叫卖很多，现在城内基本看不见了。其实这流动商贩就是在逃税，有时还短斤少两，你碰到了就自认倒霉吧。当你在午休的时候，一会儿“阿要买西瓜”，一会儿“阿要买东瓜”，闹得你好不宁。



●**下肥(しもごえ)汲み** これは各家庭でやっていたことで、後には肥料を集めるための汲み取り車もありました。また肥桶を専門に洗う人もいました。どこの家のものであるかを間違えてはなりません。洗ったあとはその家の同じ場所で陽に晒します。太陽が出ていなければ仕方なく、主人はそのまま部屋の中でそれを使うしかありませんでした。

倒马桶 那是家家户户要做的事，后来需集中管理其“肥料”，有了“收粪车”，还有专门刷马桶的人，谁家的马桶她一一不会弄错，洗干净后，放在其家门口的老地方让其晒太阳，没有太阳晒不干，主人也只好作罢，拎入房内将就使用。

●洗濯婦「長安一片月、万戸搗衣声(1)」、衣服を洗うのには砧(きぬた)を用いてたたいて洗濯しなければなりません。現在の若者は見てもまったくわからないことでしょう。古人のこの詩は、蘇州の洗濯の光景を言い尽くしています。

(1) 「子夜呉歌」と題された李白の漢詩の冒頭句。「長安の夜空には月がかかっており、あちこちの家々から砧を打つ音が聞こえてくる」という意味。



洗衣女工“长安一片月，万户捣衣声”，洗衣服要用棒锤打，现在的青少年肯定看不懂了，古人的一句诗，已经把姑苏洗衣景象说尽了。



●養蚕業 蘇州は養蚕と製糸業が呉江の盛澤地方で盛んで、その状態は今も変わりません。養蚕は長い時間のかかる苦勞の多い仕事で、桑の葉を採り、絶えず食べさせ、幼虫から繭になるまでに一

か月以上、昼も夜も見していなければなりません。しかも温度をちょうど良く保たなければなりません。繭を採ったあと、繭を買い付けに来る人もいれば繭を売りにいく人もいます。そのあと繭から纖維を繰り、絹糸を作り、経糸と緯糸を織って錦の布を作り上げるのです。

養蚕女 苏州养蚕织丝业以吴江盛泽一带最为流行和繁荣，直至现在还是这样。养蚕是长期艰苦的劳作，要采桑叶，不断地喂食，从幼虫到结茧需要一个多月的时间日夜看守，且温度要适中。采茧后，有人上门收购，有的上收购点去卖，接下来要“缫丝”、“调丝”，然后牵织经纬，织成丝锦缎匹。